

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2006-271452(P2006-271452A)

【公開日】平成18年10月12日(2006.10.12)

【年通号数】公開・登録公報2006-040

【出願番号】特願2005-91036(P2005-91036)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 4

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤に区画形成された遊技領域に遊技球を打ち込んで遊技を行う遊技機であって、
前記遊技領域の表面にはデザイン画が付され、該デザイン画が付された前記遊技領域内
には、当該遊技領域を流下する遊技球と直接的又は間接的に作用して所定の遊技効果を得
る遊技装置が配置され、

前記遊技装置は、前記遊技領域に臨設される外形形成部分が予め定めた特定実体の一部
を構成する実体構成部をなし、

前記デザイン画は、前記実体構成部との間で前記特定実体を構成する実体画を含み、

前記遊技領域には、個々に前記実体構成部を備えた複数の遊技装置が配置され、前記複
数の遊技装置は、それぞれ前記実体構成部によって単一の特定実体における一部分を構成
して、当該単一の特定実体を前記実体構成部の組合せによって構成することを特徴とする
遊技機。

【請求項 2】

前記デザイン画は、コンセプトに基づいて前記実体画がデザインされたコンセプトデザ
イン画からなり、

前記遊技装置は、前記コンセプトに基づいて前記実体構成部がデザインされたコンセプ
ト遊技装置からなることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

前記遊技機の遊技内容に基づいて前記コンセプトをチューリップに設定したことを特徴
とする請求項 1 又は請求項 2 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

(解決手段 1)

上記目的を達成するために、請求項１の発明においては、遊技盤に区画形成された遊技領域に遊技球を打ち込んで遊技を行う遊技機であって、前記遊技領域の表面にはデザイン画が付され、該デザイン画が付された前記遊技領域内には、当該遊技領域を流下する遊技球と直接的又は間接的に作用して所定の遊技効果を得る遊技装置が配置され、前記遊技装置は、前記遊技領域に臨設される外形形成部分が予め定めた特定実体の一部を構成する実体構成部をなし、前記デザイン画は、前記実体構成部との間で前記特定実体を構成する実体画を含み、前記遊技領域には、個々に前記実体構成部を備えた複数の遊技装置が配置され、前記複数の遊技装置は、それぞれ前記実体構成部によって単一の特定実体における一部分を構成して、当該単一の特定実体を前記実体構成部の組合せによって構成することを特徴とする。

この場合、遊技領域に臨設される遊技装置の実体構成部とデザイン画の実体画とによって特定実体を構成することができるので、遊技装置とデザイン画とに一体感を持たせることができ、ひいては遊技領域においてデザイン上での統一性を持たせることができる。また、遊技領域に配置される複数の遊技装置によって特定実体を構成することができ、然も、複数の遊技装置の組合せによって単一の特定実体を構成することができるので、各遊技装置に一体感を持たせることができる。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１５】

（解決手段１２）

解決手段１乃至解決手段１１において、前記デザイン画は、コンセプトに基づいて前記実体画がデザインされたコンセプトデザイン画からなり、前記遊技装置は、前記コンセプトに基づいて前記実体構成部がデザインされたコンセプト遊技装置からなることを特徴とする請求項１記載の遊技機。

この場合、コンセプトを設けた遊技盤の構成とすることができる。また、遊技装置の形状や配色に合わせてデザイン画が規制されたり、デザイン画に合わせて遊技装置の設計自由度が極端に規制されてしまうことがないので、コンセプトを設けた遊技盤としての訴求効果が薄れることなく、然も遊技内容が乏しいものとなる虞がない。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１６】

（解決手段１３）

解決手段１２において、前記遊技機の遊技内容に基づいて前記コンセプトをチューリップに設定したことを特徴とする請求項１又は請求項２記載の遊技機。

この場合、商品としての遊技機の遊技内容に合わせてデザイン画と遊技装置とがデザインされるので、遊技盤全体にコンセプトを持たせて遊技者に遊技機のイメージ（遊技内容）を視覚的に訴えかけることができる。また、左右一対の開閉片を備えたチューリップ式入賞口が遊技装置として遊技領域内に設けられて、開閉片の開放を繰り返すことで徐々に賞球を獲得していく遊技内容であることを遊技者にアピールすることができる。